市立函館高等学校

平成30年度 学 校 評 価市立函館高等学校4 : 十分達成している(適切である)3 : 概ね達成している(概ね適切である)2 : 不十分である (やや適切ではない)1 : 改善を要する(適切ではない)自 己 評 価:調査教員数63名 回答63名(100%)学校関係者評価:保護者数 91名 回答83名(91.2%)学校評議員数 5名 回答5名(100%)

分野領域	評 価 項 目	自己評価(教員)	改善の方策	学校関係者評価	
				保護者	学校評議員
学校経営	生徒の実態や保護者、地域社会の願いを踏まえた教育 目標になっている。	3. 37	・マネジメントサイ クルの一層の充実に よる改善を図る。 ・服務に関する研修 を推進する。	3. 54	4.00
	教職員の服務が適切に保たれている。	3. 22		3. 51	4.00
学校園	関係者の意見等・服務については、自己評価はもっと	高くても良い	と思います。		
教育課程・ジ	単位制の趣旨を生かし、進路実現に結びつく教育課程 が編成・実施されている。	2. 97	・生徒による授業評価の充実及改善を図 ある。 ・入試問題研究等を	3. 13	3. 40
	わかりやすい授業を行い、自ら学ぶ意欲を高めるなど 教科指導の工夫に努めている。	3. 22		3. 13	3. 40
学習指導	「函館学」を通して、生徒に郷土を愛する気持ちを養っている。	3.29	通し、組織的な教科 指導力の向上を図る。	3.33	3.80
学校園	関係者の意見等 ・単位制がどのように生かされている 続されているのは良くないので。 ・「函館学」をどの様な視点からとらえ				
生徒指導	家庭・地域社会・関係機関との連携が図られている。	3. 25	・日常の遅刻指導の	3. 39	3.80
	基本的な生活習慣や頭髪服装・いじめ防止等の指導 が、全教職員の協力体制の下で行われている。	3. 25	充実を図る。 ・自転車の乗車マナ 一向上のため警察等	3.50	4.00
	交通安全指導が適切に行われている。	3. 37	関係機関との連携の 充実を図る。	3.56	4.00
学校	関係者の意見等				
進路指導	進路選択のためのガイダンスが効果的に機能している。	3.05	・3年間を見通したガイダンス計画を作成し、系統的・継続的な指導の充実を図る。	3. 24	3. 40
	講習や模擬試験の指導など、進路実現に向けた援助活動が積極的に行われている。	3 · 2 5		3. 58	4.00
	「総合的な学習の時間」を通して、進路実現に向けた 支援をしている。	3. 17		3.40	3.80
学校園	関係者の意見等 ・教員の自己評価はやや低めですが、 と高くて良いと思います。	保護者の評価	はそれよりも高くなって	こいます。自i	己評価はもっ
健康・安全指導	日常的に健康把握を行うなど、生徒の健康面に配慮し た適切な指導が行われている。	3. 41	・教員研修の実施・ 充実に努めるととも にスクールカウンセ ラーの有効活用に努 める。	3. 44	4.00
	教育相談等を通して生徒の抱える悩み等に適切に対処 している。	3.41		3. 45	4.00
	健康な心と身体を育むための指導体制及び施設・設備が整っている。	3. 16		3. 38	3.60
学校	関係者の意見等 ・部活動それぞれが優れた活動を展開 い成果をあげていることは高く評価 のと考えます。				
特別活動	生徒会行事の内容・実施時数および事前指導・事後の 評価等が適切になされている。	3. 29	・生徒会執行部を中心に、各委員会で活発な論議をさせ、生徒の主体性を養うことにより、各種行事の活性化を図る。	3. 56	4.00
	生徒会行事、部活動等に全教職員の協力が得られ活性 化されている。	3. 25		3. 57	4.00
	生徒会行事、部活動での安全への配慮が適切にとられている。	3. 29		3. 55	4.00
学校	関係者の意見等				
地域との連携	教育方針や教育活動などについて、保護者や地域に各種通信やホームページ等を通して積極的に情報の提供や発信を行い、開かれた学校づくりに努めている。	3.22	・ P T A 各種行事、 年次保護者集会、三 者懇談会等を通し、 広く意見を聴取し学 校運営に役立てる。	3.49	3.60
	保護者や地域からの意見を積極的に聴取し、学校改善 に役立てている。	3. 24		3. 39	3.60
	PTA活動等を通して、学校と家庭との連携が図られている。	3. 21		3. 53	3.60
学校	関係者の意見等				